

- これまで当社は、他の電力会社からの応援融通受電などにより、電力の安定供給確保に全力で取り組んでまいりました。また国からは、国民の皆さまや経済団体に向けて節電の要請をいただいているところです。
- しかしながら、今後予想されます電気の使用量に対し、供給力が大変厳しい状況にあることを踏まえ、予見性ないまま大規模な停電に陥らないよう、明日以降は、計画的に停電をお願いさせていただきます。
- これまで停電回避に向け、全力で取り組んでまいりましたが、このような事態を招いてしまったことを、お客さまをはじめ広く社会の皆さまに大変ご迷惑とご心配をおかけし、誠に申し訳なく思っております。
- 当社としましては、安定供給に向け早急、最大限の対策を講じることで、一日も早い復旧に取り組んでまいります。

○ なお、大変申し訳ございませんが、停電の対象となるお客さまにつきましては、お知らせしました停電予定時間に備えていただくとともに、そのほかの地域にお住まいのお客さまにつきましても、引き続き、不要な照明や電気機器のご使用を控えて頂きますよう、お願いいたします。

○ 停電の詳細については、後ほど副社長の藤本から説明いたします。

○ 私からは以上です。

以上

左

保母次

3月13日 社長会見読み上げ(文)

- 東京電力の清水でございます。(一同、着席せず起立のまま)

- 本来であれば、もう少し早く皆さまにご説明させて頂くべきかと考えておりましたが、さる3月11日に発生しました三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震により、当社の福島第一原子力発電所の1～3号機(合計約203万kW)、および福島第二原子力発電所の1～4号機(合計440万kW)が停止したことをはじめ、火力発電所および流通設備などが大きな被害を受ける中で、政府が、原子力災害特別措置法に基づき対策本部を立ち上げ対応を進めて頂いている中で、安全確保および現地状況の把握を優先し、発信するなど社内の陣頭指揮に従事していたことにより、このようなタイミングとなってしまいましたことに対し、まずはお詫び申し上げます。

- また、福島第一原子力発電所における放射性物質の漏洩や、原子炉冷却にかかるトラブルなどが相次いでいることにより、放射性物質の漏洩による避難勧告を出されております立地地域の皆さまをはじめ、広く社会の皆さまに大変なご心配とご迷惑をおかけしておりますことに対し、心よりお詫び申し上げます。

○ 加えまして、被災地では、震災により甚大な被害が生じており、お亡くなりになられた方々、また、被災された方々には、心からお悔やみとお見舞い申し上げます。(一同、礼)

○ それでは大変失礼ではございますが、着席にてご報告させていただきます。

(着席)

○ 本日、私からは、福島第一原子力発電所および第二原子力発電所の設備の状況について、現時点で把握している事項を整理してご説明させていただきます。

<福島第一原子力発電所の概要>

○ まずは、福島第一原子力発電所のこれまでの状況ですが、
現在、全てのプラントにおいて、制御棒を挿入して運転を停止した状態ではありますが、地震により送電線から発電所へ電気が供給されなくなり外部電源が喪失した上に、津波が非常用電源や関連する機器に海水がかかり機能しなくなりました。これら非常用機器が機能しないと燃料の熱を冷却する機能が十分でないため、燃料が持っている熱を取りさるため、海水も含め水を炉心に注入し燃料を冷やす努力をしております。

○ しかしながら、敷地境界で、線量の上昇が確認されていることもあり、さらなる炉心の冷却など全力で努力してまいります。

以下、各プラントの状況をお知らせいたします。

○ まず、1号機については、地震や津波の影響により、非常用電源が喪失した中で、燃料を冷やすために様々な方法に試んだ末、海水を注入する状況となっております。

○ そうした中、昨日、午後3時36分頃、直下型の大きな揺れの直後に水素爆発と思われる爆発が起き、原子炉建屋の上部が破損する事象となってしまいました。しかしながら、格納容器の健全性は現在でも確保されていると考えており、引き続き、炉心の冷却に最大限の努力をしているところです。

○ 次に、2号機ですが、1号機と同様に電源機能が喪失している中で、原子炉隔離時冷却系で冷却中でしたが、今後も非常用電源の確保とともに、海水等さらなる冷却方法を追加してまいります。

- また、3号機については、海水で炉心の冷却に全力を注いでいるところですが、長時間にわたり、圧力容器の水位が上昇していない状況や、建屋内の線量が上昇している状況などをふまえ、これ以上、設備損傷が拡がることのないよう、全力を尽くしているところでもあります。
- 一方、定期検査中で停止していた4～6号機については、運転を停止した直後の燃料と比べ熱が少ないものの、引き続き、慎重に冷却管理をしております。

<福島第二原子力発電所の概要>

- 次に、福島第二原子力発電所のこれまでの状況ですが、現在、原子炉の状態は安定しております。
- しかしながら、外部の電源は活かされているものの、津波により水に浸かった非常用電源設備が使用できない状態にあります。冷やす機能を有しているもののうち非常用海水系の機能が喪失している状態であり、この機能を回復するために、ケーブルを新たに敷設し、炉心を冷却する各ポンプや電動機の健全性の確保に努めているところでもあります。

<まとめ>

- このたび、私どもといたしましては、これまで我が国が経験したことのない大規模地震といった自然の脅威とは言え、このような原子力の重大な事故に至ってしまったことは、痛恨の極みであります。
- 当社といたしましては、引き続き、政府・関係省庁、自治体とも緊密に連携をはかりつつ、電力各社からの応援も頂ながら、立地地域の皆さまの安全を最優先に、一日も早い設備の安全性の確保に全力で取り組んでまいり所存です。
- 私どもといたしましては、引き続き、安全確保と被害の拡大を防ぐべく、全力を尽くしてまいります。

<計画停電の実施>

- 次に、3月11日に発生いたしました三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震により、当社供給区域における電力需給が極めて厳しい状況になっております。

- これまで当社は、他の電力会社からの応援融通受電などにより、電力の安定供給確保に全力で取り組んでまいりました。また国からは、国民の皆さまや経済団体に向けて節電の要請をいただいているところです。
- しかしながら、今後予想されます電気の使用量に対し、供給力が大変厳しい状況にあることを踏まえ、予見性ないまま大規模な停電に陥らないよう、明日以降は、計画的に停電をお願いさせていただきます。
- これまで停電回避に向け、全力で取り組んでまいりましたが、このような事態を招いてしまったことを、お客さまをはじめ広く社会の皆さまに大変ご迷惑とご心配をおかけし、誠に申し訳なく思っております。
- 当社としましては、安定供給に向け早急、最大限の対策を講じることで、一日も早い復旧に取り組んでまいります。

- なお、大変申し訳ございませんが、停電の対象となるお客さまにつきましては、お知らせしました停電予定時間に備えていただくとともに、そのほかの地域にお住まいのお客さまにつきましても、引き続き、不要な照明や電気機器のご使用を控えて頂きますよう、お願いいたします。
- 停電の詳細については、後ほど副社長の藤本から説明いたします。
- 私からは以上です。

以 上

左2

除染機器の復旧作業

経済産業省
平成23年3月13日 23:00
番号 13 23 23

- 1号機除染機器の復旧見込み：3月14日中
- 2号機除染機器の復旧見込み：3月14日中
- 4号機除染機器の復旧見込み：3月14日中

作業対象機	作業対象機番号	作業内容	作業進捗状況	終了予定時刻		
2F-1	RHR	B号機	電動機メカ測定	実施済	3/13 22:00	
		健全性確認(ポンプ・電動機)	未着手			
		電動機メカ測定	実施済	異常なし		
	RHR0	D号機	健全性確認(ポンプ・電動機)	実施済、電動機交換	異常なし	3/13 22:00
		ケーブル布設(廃棄物処理建屋より)	実施済	異常なし		
		電動機メカ測定	実施済	異常なし		
	RHR6	D号機	健全性確認(ポンプ・電動機)	実施済、電動機交換	異常なし	3/13 22:00
		B号機に取戻	ケーブル布設(廃棄物処理建屋より)	実施済	異常なし	
		電動機メカ測定	未着手			
	EECW	B号機	健全性確認(ポンプ・電動機)	電動機交換		3/13 22:00
			ケーブル布設(電源車より)	実施済	異常なし	
			電動機メカ測定	未着手		
2F-2	RHR	B号機	電動機メカ測定	未着手	3/14 00:00	
		健全性確認(ポンプ・電動機)	未着手			
	RHR0	B号機	電動機メカ測定	実施済	異常なし	3/14 00:00
			健全性確認(ポンプ・電動機)	未着手		
			ケーブル布設(廃棄物処理建屋より)	実施済	異常なし	
	RHR6	B号機	電動機メカ測定	メカ測定	異常なし	3/13 23:00
			健全性確認(ポンプ・電動機)	未着手		
	EECW	B号機	電動機メカ測定	未着手	3/14 00:00	
			健全性確認(ポンプ・電動機)	未着手		
			ケーブル布設(3号機より)	未着手		
	2F-3	RHR	B号機	原子力立地一時停止中、作業中止	異常なし	3/14 23:00
		RHR0	B号機	原子力立地一時停止中、作業中止	異常なし	3/14 23:00
RHR6		B号機	原子力立地一時停止中、作業中止	異常なし	3/14 23:00	
EECW		B号機	原子力立地一時停止中、作業中止	異常なし	3/14 23:00	
2F-4	RHR	B号機	電動機メカ測定	未着手	3/14 23:00	
			健全性確認(ポンプ・電動機)	未着手		
	RHR0	B号機	電動機メカ測定	未着手	3/14 23:00	
			健全性確認(ポンプ・電動機)	未着手		
			ケーブル布設(3号機より)	ケーブル布設中		
	RHR6	D号機	電動機メカ測定	メカ測定	異常なし	3/14 23:00
			健全性確認(ポンプ・電動機)	未着手		
	EECW	B号機	ケーブル布設(3号機より)	ケーブル布設中	3/14 23:00	
			電動機メカ測定	メカ測定		異常なし
			健全性確認(ポンプ・電動機)	未着手		

大気中ダスト・ヨウ素測定結果

(採取場所:福島県・原子力センター前)

左1

3月13日

採取時刻	測定結果(Bq/m ³)	備考
8:00~8:10		
Vol.1		
I-131	5.8	
I-132	N.D	
Cs-137	N.D	
Te-132	1.7	

採取時刻	測定結果(Bq/m ³)	備考
10:00~10:10		
Vol.2		
I-131	1.5	
I-132	N.D	
Cs-137	N.D	
Te-132	N.D	

採取時刻	測定結果(Bq/m ³)	備考
12:00~12:10		
Vol.3		
I-131	N.D	
I-132	N.D	
Cs-137	N.D	
Te-132	N.D	

2014年3月13日(水) 23:05 P002/019

福島県総合環境センター

ERC様



2011年 3月13日(日) 23:05 P003/019

福島県環境課(1)

ERC様



採取時刻	測定結果(Bq/m ³)	備考
14:00~14:10		
Vol.4		
I-131	N.D	
I-132	2.4	
Cs-137	N.D	
Te-132	4	

採取時刻	測定結果(Bq/m ³)	備考
16:00~16:10		
Vol.5		
I-131	1.7	
I-132	N.D	
Cs-137	N.D	
Te-132	N.D	

採取時刻	測定結果(Bq/m ³)	備考
18:00~18:10		
Vol.6		
I-131	60	
I-132	24	
Cs-137	N.D	
Te-132	5	

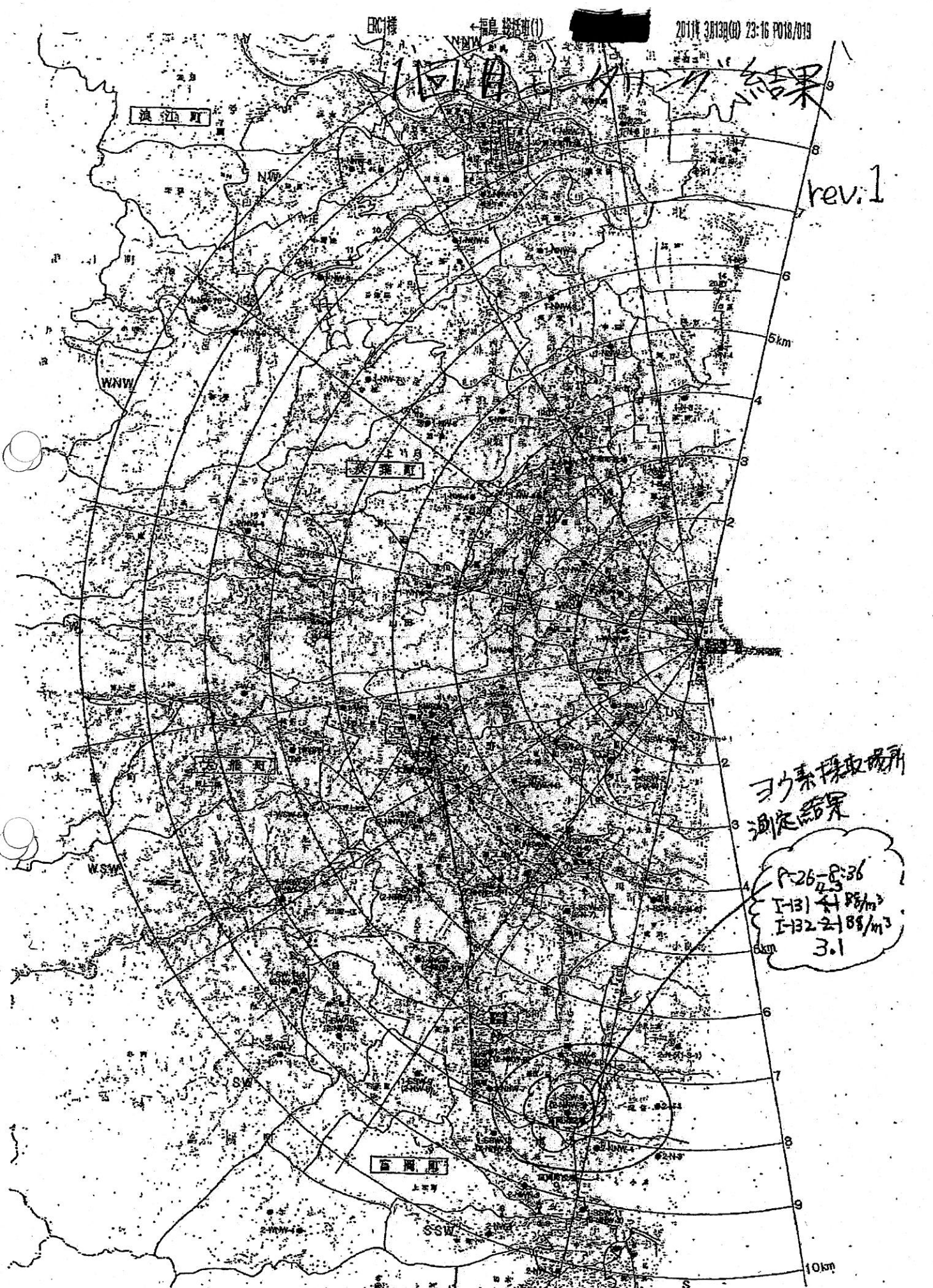
ERC様

福島 総合研究所(1)

2014.3.13(水) 23:16 P018/019

測定結果

rev.1



3ヶ所素標取場所
測定結果

P-26-0:36
I-131 4.88/m³
I-132 2.188/m³
3.1

南相馬方面 E=9.1~9.7 (3/13)

遠藤、関谷 (18=20報告)

第4日目

地点名	時刻	測定値 $\mu\text{Sv/h}$
相馬浪江線と原町浪江線 との交差点 (原町区)	16:57	16.6
6号線 知命寺交差点	17:20	8.66
浪江鹿島線 小高区サーフズ	17:40	5.85
浪江鹿島線 大田川大田橋 (原町区)	17:50	7.68

2014 3月31日(日) 23:05 P004/019

福島県(1)

浪江線

南相馬方面モニタリング (3/13)

遠藤 関谷 (17:02)

報告者
阿部

第3回目

2014 3月31日(水) 23:06 P005/019

福島県(1)

ERC機

地点名	時刻	測定値 $\mu S/h$
① 相馬浪江線と原町浪江線との交差点 (原町区)	14:34	11.9
② 相馬浪江線と川俣原町線との交差点 (原町区)	14:48	4.93
③ 相馬浪江線と大芦鹿島線との交差点 (鹿島区)	14:53	5.92
④ 鹿島日下石線 車川橋 (鹿島区)	15:03	6.03
⑤ 6号線 横手交差点 (鹿島区)	15:10	5.34
⑥ 浪江鹿島線 原町と鹿島との境界 (—)	15:22	5.41